



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場会社名 リンナイ株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 5947 URL <http://www.rinnai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 弘康

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 小杉 将夫

TEL 052-361-8211

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	184,773	3.5	20,692	5.9	22,296	8.2	12,208	△3.2
23年3月期第3四半期	178,453	6.1	19,548	33.4	20,600	35.3	12,617	41.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 9,933百万円 (△9.0%) 23年3月期第3四半期 10,918百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	248.84	—
23年3月期第3四半期	252.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	229,592	148,450	63.0
23年3月期	221,495	141,110	62.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 144,564百万円 23年3月期 137,274百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
24年3月期	—	28.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	248,000	3.6	27,000	7.0	28,000	4.4	17,500	12.8	356.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	54,216,463 株	23年3月期	54,216,463 株
24年3月期3Q	5,156,698 株	23年3月期	5,156,123 株
24年3月期3Q	49,060,032 株	23年3月期3Q	50,006,994 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州での債務問題が深刻化し、中国を中心とするアジア諸国では経済成長が鈍化するなど、先行きの見えない状況が続いております。一方、国内においては、東日本大震災やタイ洪水の影響による流通不安が解消され、サプライチェーンの安定化とともに企業の生産活動や収益は少しずつ上向いてきており、国内経済は持ち直しの方向に向かっております。

住宅設備業界では、消費者の購買意欲が戻ってきたことに加え、住宅取得支援策による需要喚起に支えられ、都市部を中心としたマンションの販売が増加するなど住宅着工戸数は堅調に推移しており、住宅関連市場において復調の兆しが見えてまいりました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画「改革と躍進」の最終年度にあたり、環境・省エネの時流を背景に総合熱エネルギー機器メーカーとしてのグローバルな飛躍を目指し、世界各国の生活環境に最適な熱機器を幅広く提供してまいりました。

販売面につきましては、海外では新興国の生活水準向上に伴う熱機器需要の拡大や先進国における環境への取組みを追い風とする買替需要の増加により、確実な成長を維持してはいるものの、米国経済の回復の遅れや為替の影響を受けたことで、海外売上は前年を下回りました。一方、国内ではガス機器の堅調な買替需要に加え、電力不足を背景とした節電志向の流れがガス機器を中心とした節電・省エネ商品の販売増につながり、国内売上は堅調に推移しました。

損益面につきましては、国内の増収効果や重点商品に対するコスト造り込み効果に加え、付加価値の高い高効率給湯器「エコジョーズ」シリーズの伸長が利益を押し上げ、増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,847億73百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益206億92百万円（前年同期比5.9%増）、経常利益222億96百万円（前年同期比8.2%増）、四半期純利益におきましては投資有価証券評価損を計上したことにより、122億8百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

<日本>

90年代に増加した住宅設備機器需要の買替期到来によりガス機器市場が拡大したことに加え、消費者の節電意識が高まる中、厨房機器におけるガスコンロや空調機器におけるガストーブ・ガスファンヒーターの需要が増えたことや、給湯機器において、業界全体で普及を推進している高効率給湯器「エコジョーズ」シリーズが好調だったことが当社グループの売上増に寄与しました。日本の売上高は1,316億43百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は156億94百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

<韓国>

厨房機器においては、他社との競争激化によりコンロの売上が減少したものの、給湯機器においては、年初の寒波の影響や買替需要の増加に伴いボイラー販売が伸長しました。現地売上は前年を上回ったものの、為替の影響を受けたことで、韓国の売上高は158億31百万円（前年同期比1.9%減）となりました。また、固定費の増加やコンロ販売減少の影響を受け、営業利益は4億52百万円（前年同期比22.0%減）となりました。

<アメリカ>

現地経済の回復の遅れとタンクレス給湯器市場における他社との熾烈な競争を背景に、タンクレス給湯器の販売が振るわなかったことに加え、為替の影響を受けたことで、アメリカの売上高は84億91百万円（前年同期比14.1%減）、営業利益は2億60百万円（前年同期比63.8%減）となりました。

<オーストラリア>

オーストラリア政府による積極的な環境政策の一環である電熱貯湯式給湯器の販売禁止規制において、その対象エリアの拡大により高効率なガスタンクレス給湯器の販売が順調に推移し、好調な結果となりました。オーストラリアの売上高は123億37百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は29億61百万円（前年同期比35.8%増）となりました。

<中国>

内陸部のガスインフラ拡大や生活水準向上によって、主力商品の湯沸器販売は好調に推移したものの、為替の影響を受けたことで、中国の売上高は78億19百万円（前年同期比5.9%減）となりました。また、人件費や原材料費の上昇に加え、地方の販売拡大に伴い安価品の販売比率が増加し、営業利益は1億66百万円（前年同期比64.4%減）となりました。

(参考1) 機器別売上高の内訳

機器別	前第3四半期累計期間 (平成22年4月1日～12月31日)		当第3四半期累計期間 (平成23年4月1日～12月31日)		増 減		前 期 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
厨房機器	62,003	34.7	61,197	33.1	△806	△1.3	79,600	33.2
給湯機器	81,200	45.5	86,316	46.7	5,115	6.3	114,534	47.8
空調機器	13,345	7.5	14,867	8.0	1,521	11.4	15,754	6.6
業用機器	5,074	2.8	5,201	2.8	126	2.5	6,739	2.8
その他	16,828	9.4	17,190	9.3	362	2.2	22,806	9.5
合 計	178,453	100.0	184,773	100.0	6,320	3.5	239,436	100.0

(参考2) 海外売上高

	前第3四半期累計期間 (平成22年4月1日～12月31日)			当第3四半期累計期間 (平成23年4月1日～12月31日)		
	アジア	その他の地域	計	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高 (百万円)	32,421	27,067	59,489	32,090	26,081	58,172
II 連結売上高 (百万円)	—	—	178,453	—	—	184,773
III 海外売上高の連結売上高に占める割合 (%)	18.2	15.2	33.3	17.4	14.1	31.5

(注) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べ80億96百万円増加し2,295億92百万円となりました。また、負債は7億56百万円増加し811億41百万円となり、純資産は73億40百万円増加し1,484億50百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は63.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月11日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,338	29,621
受取手形及び売掛金	53,155	60,346
有価証券	28,663	24,858
商品及び製品	11,545	14,370
原材料及び貯蔵品	9,478	9,490
その他	5,413	5,392
貸倒引当金	△449	△507
流動資産合計	136,145	143,572
固定資産		
有形固定資産	41,997	41,685
無形固定資産	1,581	1,490
投資その他の資産		
投資有価証券	29,604	30,788
その他	12,603	12,445
貸倒引当金	△437	△391
投資その他の資産合計	41,771	42,843
固定資産合計	85,350	86,019
資産合計	221,495	229,592

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,781	44,297
短期借入金	6,277	5,969
未払法人税等	5,034	3,725
賞与引当金	2,765	986
その他の引当金	2,926	1,933
その他	12,515	13,968
流動負債合計	70,301	70,881
固定負債		
長期借入金	2,763	2,722
退職給付引当金	4,547	4,653
その他の引当金	53	59
その他	2,718	2,824
固定負債合計	10,083	10,259
負債合計	80,384	81,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,459	6,459
資本剰余金	8,719	8,720
利益剰余金	147,757	157,414
自己株式	△23,465	△23,469
株主資本合計	139,471	149,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△394	△307
為替換算調整勘定	△1,803	△4,254
その他の包括利益累計額合計	△2,197	△4,561
少数株主持分	3,836	3,886
純資産合計	141,110	148,450
負債純資産合計	221,495	229,592

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	178,453	184,773
売上原価	122,637	127,999
売上総利益	55,815	56,773
販売費及び一般管理費	36,267	36,080
営業利益	19,548	20,692
営業外収益		
受取利息	584	750
持分法による投資利益	593	706
その他	641	653
営業外収益合計	1,818	2,111
営業外費用		
支払利息	244	230
為替差損	474	152
その他	47	125
営業外費用合計	766	507
経常利益	20,600	22,296
特別利益		
投資有価証券売却益	183	—
その他	10	—
特別利益合計	193	—
特別損失		
投資有価証券評価損	59	1,555
点検費用等	526	—
点検費用等引当金繰入額	83	—
その他	225	—
特別損失合計	895	1,555
税金等調整前四半期純利益	19,898	20,741
法人税、住民税及び事業税	5,931	6,775
法人税等調整額	952	1,489
法人税等合計	6,883	8,265
少数株主損益調整前四半期純利益	13,015	12,475
少数株主利益	397	267
四半期純利益	12,617	12,208

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,015	12,475
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△690	87
為替換算調整勘定	△1,337	△2,510
持分法適用会社に対する持分相当額	△68	△118
その他の包括利益合計	△2,096	△2,541
四半期包括利益	10,918	9,933
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,753	9,844
少数株主に係る四半期包括利益	164	89

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	韓国	アメリカ	オースト ラリア	中国			
売上高								
外部顧客への売上高	123,897	16,134	9,885	12,104	8,311	8,119	—	178,453
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,049	197	41	2	943	1,180	△15,414	—
計	136,946	16,331	9,927	12,107	9,254	9,299	△15,414	178,453
セグメント利益	14,426	579	717	2,181	468	1,073	100	19,548

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	韓国	アメリカ	オースト ラリア	中国			
売上高								
外部顧客への売上高	131,643	15,831	8,491	12,337	7,819	8,649	—	184,773
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,782	266	—	0	1,041	1,499	△15,591	—
計	144,426	16,098	8,491	12,338	8,861	10,148	△15,591	184,773
セグメント利益	15,694	452	260	2,961	166	1,080	77	20,692

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。